www.r-toolbox.jp

木製シェルビング

目次

部品パーツ図		1
施工前にご確認ください		2
組み立て手順	棚柱	3
〃	棚板　デスク天板	4
〃	真鍮ハンガーパイプセット	5
〃	ボックス　／ブラケットの取り外し方	6

安全のために必ずお守りください

取り付け前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けを行ってください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に取り付け、あなたや他の人々への被害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

本文中に使われている図記号の意味は次の通りです。

警告　**警告を無視した取り扱いをすると、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性があります。**

注意　**注意を無視した取り扱いをすると、物的損害を被ったり、傷害を負う可能性があります。**

気を付けなければいけない注意事項　やってはいけない注意事項　しなければいけない強制事項

保存版

施工説明書

toolbox

株式会社 TOOLBOX

URL　www.r-toolbox.jp
E-mail　contact@r-toolbox.jp

2024.05

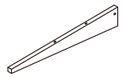
部品パーツ図

棚柱 L900
W48×D50×H900

付属／固定用ビス
（タッピングビス M4 L50 ×5 本）

ブラケット 棚板用
L282×H50×t.18

付属／固定用ピン
（真鍮ピン L65×1 本
真鍮ピン L28×1 本）



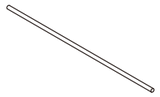
ブラケット デスク用
L532×H70×t.18

付属／固定用ピン
（真鍮ピン L65×1 本）
固定用ボルト
（SUS ボルト M4 L50×2 本）

真鍮ハンガーパイプセット

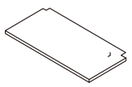
ブラケット パイプ用
（2 枚組）
L364×H50×t.18

付属／固定用ピン
（真鍮ピン L65×2 本）

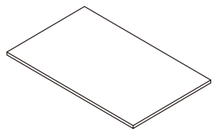


ハンガーパイプ
W934 φ19

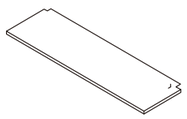
ストッパーは六角袋ナットが
両端に固定されています



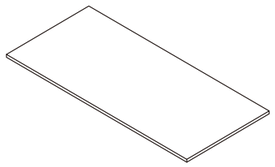
棚板 W600
W600×D300×t.18



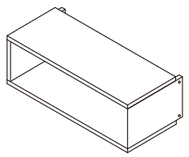
デスク天板 W950
W950×D550×t.18 or t.20



棚板 W900
W900×D300×t.18



デスク天板 W1250
W1250×D550×t.18 or t.20



ボックスブラケット
W632×D282×H210

付属／固定用ピン
（真鍮ピン L65×4 本）

固定パーツ	**ブラケット用 固定ピン** （ φ6 L65 ）	**棚板用 固定ピン** （ φ6 L28 ）

施工前にご確認ください

警告を守らない場合前触れなく棚が落下するなどの突然の事故、その他破損事故が発生する恐れがあります。

■ 下地について

木下地 (芯柱・間柱)・下地合板 (12mm 以上) にサポートをビス固定してください。
下地のない位置へサポートを取り付けるとビスやサポートが抜け落ちてしまいます。

柱の取り付け施工は上下を間違えず、水平・平行を正確に出して行ってください。
精度が低い場合、棚などの可動困難やガタつき、不確実装着による突然落下の恐れがあります。

■ 設置・仕様について

部品が確実に取り付けられていることをご確認ください。(ブラケットの固定ピンなど)
取り付けが不十分な場合、部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。

安全目安荷重値よりも重いものを収納しないでください。
部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。

安全目安荷重値以内であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。

ブラケット類は上下を逆にせず、必ず部品寸法図に記載している上下をお守りください。

製品はすべて屋内用です。屋外では使用しないでください。

製品に直接水をかけたり、濡れたものを置いたりしないでください。

棚板やハンガーパイプのレイアウトを変更する時は、1 人で行なわず安全のために 2 人で行なってください。

製品の改造はしないでください。
製品の強度が失われる可能性があります。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。
放置するとシミや変色の原因になります。

棚板はブラケットの上に載せる仕様となります。
手前に引っ張ると棚板がズレる可能性があります。
ものを載せる際は、棚板の中心より前に荷重がかかると落下する恐れがあります。

■ お手入れについて

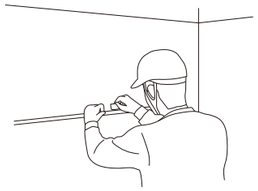
日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。
有機溶剤や研磨剤の入ったクリーナーを使用すると、製品のキズ・塗装剥離の原因となります。

組み立て手順 棚柱

■ 墨出し

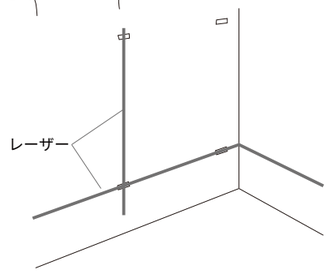
マーキング

「棚柱」を取り付ける位置を決めます。
マスキングテープを貼り、マーキングしていきます。



水平・垂直

棚柱を取り付ける下場位置を決め、レーザーなどで水平垂直をチェックします。

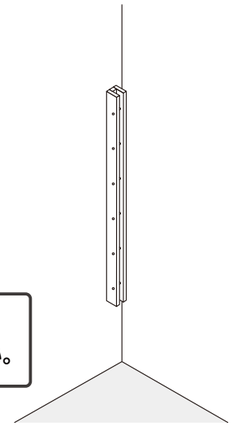


■ 棚柱の設置

① 棚柱 1 本目の取り付け

耐荷重性能が著しく低下しますので、ビス穴にはビスをすべて取り付けてください。

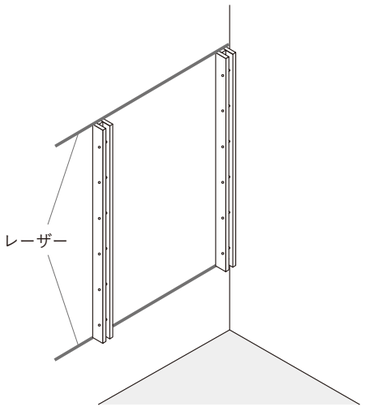
※ 固定したビスの頭が飛び出ていると、ブラケットが奥まで入らない可能性がありますので、しっかりと打ち付けてください。

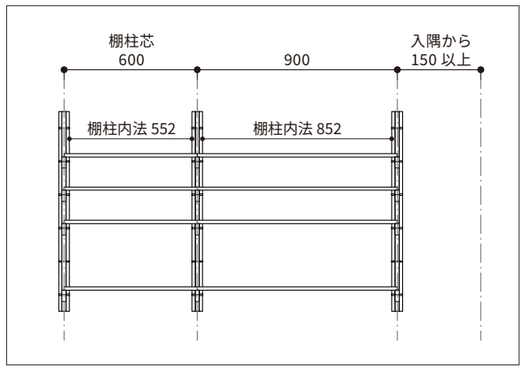


⚠注意	**ブラケットを固定する際に、手が入りにくくなるので、「棚柱」は入角や端から必ず 150mm 以上離して取り付けてください。**

② 棚柱 2 本目以降の取り付け

最初に取り付けた「棚柱」と 2 本目以降の「棚柱」が水平になるように取り付けてください。
棚板の幅に合わせて棚柱の芯〜芯の寸法を決めます。





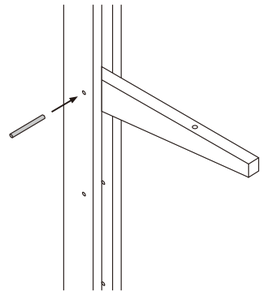
取り付け時の寸法公差は -2mm までとしてください。
幅が広くなってしまうと、棚板のガタつきが気になる場合があります。
（ボックスブラケットは寸法公差は -1mm）

組み立て手順 棚板 デスク天板

■ 棚板用ブラケット・デスク用ブラケット

棚柱の穴とブラケットの穴を合わせて固定パーツのピンを差し込んでください。

※ピンが入りにくい場合は木槌 (またはゴムハンマー) で叩き込んでください。



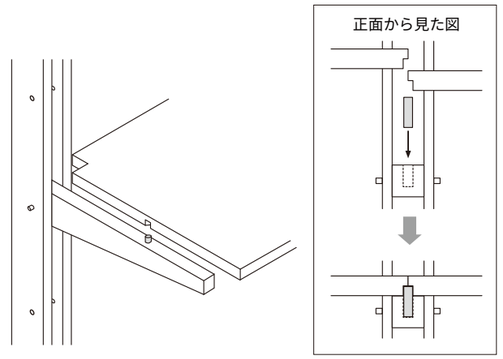
ブラケット用 固定ピン
（ φ6 L65 ）

■ 棚板の固定

ブラケット上面のピンの穴に、棚板用 固定ピンを差し込み、棚板裏面のの凹みに合わせて上から載せてください。

※ブラケットは必ず同じ高さに平行に設置してください。
※棚板を手前に引っ張ると棚板がズレる恐れがあります。

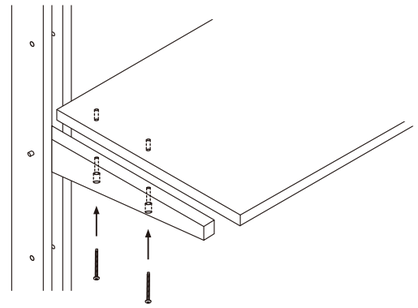
棚板用 固定ピン
（ φ6 L28 ）



■ デスク天板の固定

ブラケットのボルト用貫通穴の位置と、デスク裏面のオニメナットの位置を合わせて、下から付属のボルトで固定してください。

※ブラケットは必ず同じ高さに平行に設置してください。

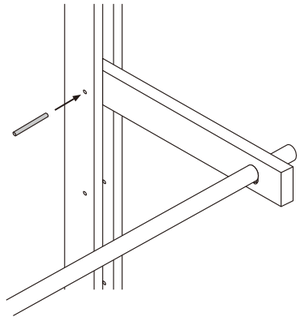


組み立て手順 真鍮ハンガーパイプセット（ハンガーパイプ／パイプ用ブラケット）

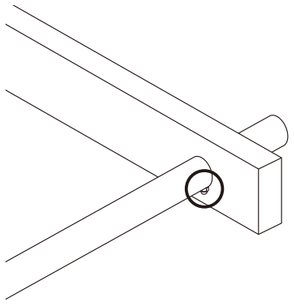
■ ハンガーパイプとパイプ用ブラケット

パイプ用ブラケットは、パイプをパイプ穴両端に通してから左右同時に棚柱に固定してください。
ブラケットは、棚柱の穴とブラケットの穴を合わせてピンを差し込んでください。

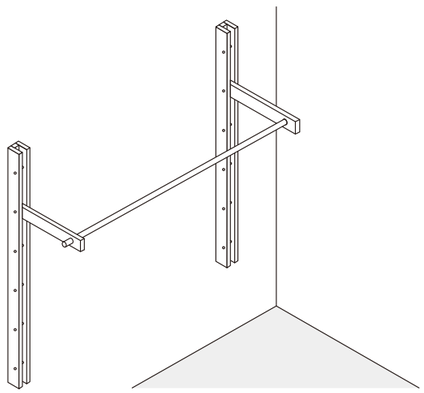
※ピンが入りにくい場合は木槌 (またはゴムハンマー) で叩き込んでください。
※ブラケットは必ず同じ高さに平行に設置してください。



ブラケット用 固定ピン
（ φ6 L65 ）



パイプのストッパーは、あらかじめ六角袋ナットが固定された状態で届きます。



組み立て手順 ボックス

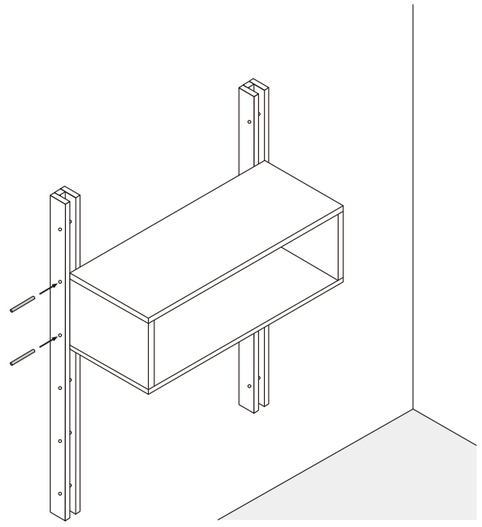
■ ボックスブラケット

棚柱の穴とブラケットの穴を合わせて固定パーツのピンを差し込んでください。
ボックスタイプは穴が上下に 2 つあります。

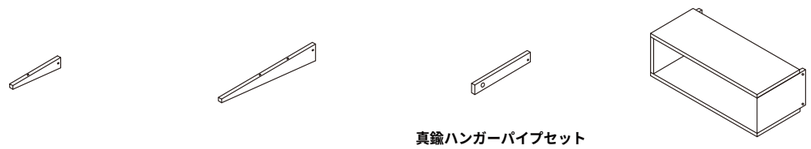
※ピンが入りにくい場合は木槌 (またはゴムハンマー) で叩き込んでください。

※ボックスブラケットは、遊び・逃げがないので棚柱間の寸法誤差があると入らない場合があります。

ブラケット用 固定ピン
（ φ6 L65 ）



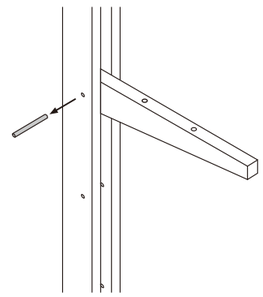
ブラケットの取り外し方



ブラケット 棚板用
L282×H50×t.18

ブラケット デスク用
L532×H70×t.18

真鍮ハンガーパイプセット
ブラケット パイプ用
（2 枚組）
D364×H50×t.18

ボックスブラケット
W632×D282×H210

ブラケットの固定ピンを横にスライドさせて外してください。ピンがずれにく場合は、木槌 (またはゴムハンマー) で少しづつ出してください。